

転勤が決まったら



01

家族の**未来**を話し合う

3日以内に



辞令が出たら、まずは夫婦で帯同するか単身赴任にするかを話し合い、家族としての方向性を決めます。並行して新居探しや業者見積もりを進め、会社や学校へも早めに連絡しておきましょう。今の住まいの破損や汚れを確認し、引っ越しまでのスケジュールを整理しておく、この先の行動がスムーズになります。

02

新居を探す・決める

残り3週間

引っ越しの山場は「新居選び」。ここが決まらないとライフラインや住所変更、学校・園の手続きがすべて後回しになります。物件探しは条件整理や内見で時間がかかるため、早めに動きましょう。新居が決まれば、転居届や契約手続きも一気に進み、気持ちの余裕が生まれます。新生活のスタート地点を整えることが、引っ越し成功のカギです。



転勤決定

スタートが大事

- ☐ 夫婦会議
- ☐ 新居探し・引越し業者見積もり
- ☐ 転勤報告（会社／学校）
- ☐ 汚れ・破損確認
- ☐ スケジュール確認
- ☐ 引っ越し TODO 確認
- ☐ 夫婦役割分担

手続きはまとめよう

- ☐ ライフライン解約／移設／住所変更
 - ☐ 電気 ☐ ガス ☐ 水道 ☐ ネット ☐ スマホ
- ☐ 在学証明書・転校証明書の発行依頼
- ☐ かかりつけ医へ転勤連絡・紹介状依頼
- ☐ 転勤手当の内容確認
- ☐ 不用品仕分け（捨てる／譲る／使う）
- ☐ 挨拶・御礼の品の準備
- ☐ 新居決定・退去連絡
- ☐ 内見・学校・園訪問・新天地の下見
- ☐ 金融関係住所変更（銀行・証券・クレジットカード・保険など）
- ☐ 郵便局への転居届

ついに来た！夫の転勤辞令。どうしよう…と慌てないように、辞令～引っ越し前日までの流れをまとめました。「いつまでに何をすればいいか」を把握して、落ち着いてスムーズに準備を進めましょう。

03

子どもと一緒に引っ越し

残り2週間



役所や会社、子ども関係の手続きは一度にまとめて済ませるのがポイントです。ToDoを事前書き出して臨めば、無駄な手間を減らせます。特に時間がかかるのは移動手段や宿泊先の手配。家族が増えた分、調整も複雑になりやすいため、早めに検討・予約し、残り2週間のうちに安心を確保しましょう。

04

最終確認とあいさつ

残り1週間

荷物を搬出したら部屋全体を掃除し、写真や動画で記録を残しましょう。壁の汚れや床の傷、設備の状態まで残しておけば、万一のトラブルでも安心です。その記録はあなたと家族を守る「お守り」に。ひと手間を終えたら、感謝を込めてあいさつし、気持ちよく退去しましょう。



引越当日

役割を具体的に

- ☐ 移動手段・宿泊先を決める
- ☐ 役所手続き（転出届・児童手当など）
- ☐ 不用品の処分（捨てる／売る／譲る）
- ☐ 荷造りスタート
- ☐ キッチン・冷蔵庫の掃除
- ☐ ゴミ処分・業者決定・打ち合わせ
- ☐ 保存食・子ども用品の買い出し
- ☐ 旧住所の自治体へ必要な枚数の課税証明書を申請する

後悔しない転出を

- ☐ 引越し業者・入居日の最終打ち合わせ
- ☐ ライフラインの最終確認
- ☐ 新居ですぐ使うものをひと箱にまとめる
- ☐ 当日用の荷物をキャリーバッグに準備
- ☐ スケジュール・タスクの最終確認
- ☐ 車の引き渡し
- ☐ 家の掃除
- ☐ お世話になった人へ挨拶
- ☐ 冷蔵庫のコンセントを抜く
- ☐ 最後の洗濯 / 以降は段ボールへ
- ☐ 子どもの最終登校・登園
- ☐ 体力温存のため早めに就寝